

アボミ・カラヴィ地区
ゴドミ行政区
ングベボ公立小学校のための
1教室とトイレつき校舎建設第二報告

お正月の祭日後、左官公たちがングベボに戻ってきて、漆喰塗りを開始しました。教室はひとつだけなので、内部の作業は迅速に進みました。けれども外壁は基礎が高いので、さらに時間を要しました。しかし作業はすべて、それほどの困難もなしにうまく終了しました。



その後、床と入口の階段がセメントで固められました。



建設チームが現場に戻って以来、このような沼地にどんなトイレを建てられるのか、ずっと議論致しました。現在あるトイレは村の人たちが建てたものですが、その槽は水の中に造られていました。その槽の壁がセメントで固められているかどうか確実ではありません。私達の作業員の一人が、槽には水がたまっていると語りました。結局、私達はトイレ用の槽を草の上に作ることに決めました。まず50センチ厚さの基礎にシリコン入りのセメント剤を流しました。槽の内側も同じ漆喰剤で塗られました。



トイレの入口用に大きな板がコンクリートでこしらえられました。



その板の上にトイレの小部屋が造られました。この学校は海に遠くない場所に立っているの
で、屋根はエタニット板を据え付けました。トタン屋根は潮風ですぐに錆びてしまうからで
す。上り口が据えられました。

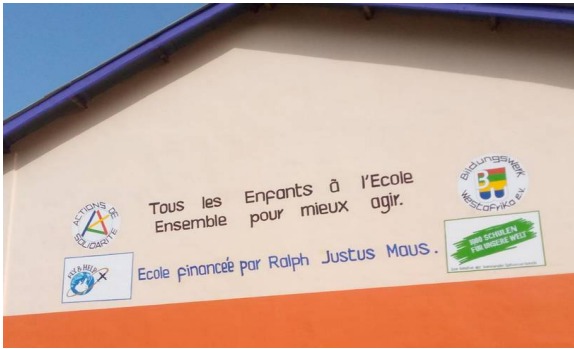
ペンキ屋が壁を塗り始めます。



新校舎はすぐに色鮮やかに輝きました。



壁にロゴも描かれます。



マウスさんのご信頼に心より感謝いたします、そしてフライ・アンド・ヘルプ会のみなさまに素晴らしい共同作業について感謝いたします。イースター休みが終わりましたら、校舎は開校されます。そうしたら、開校式の様子をもう一度ご報告いたしましょう。

